

埼葛北・北埼玉専門職連携推進会議

事例検討会「看取り」報告書

1.事例検討会の概要

平成 29 年 11 月 28 日、行田市にある特別養護老人ホーム緑風苑にて、今年度 2 回目の研修会をおこなった。今回は事例検討会として、「看取り」をテーマとした内容とし、施設と在宅の 2 種類の事例を提供してもらった。1 事例 60 分とし、概要説明ののち、参加者 20 名とともに、アセスメント、手立ての提案を行った。

事例提供者としては、施設事例は特別養護老人ホーム愛泉苑の太田様に、在宅事例はシティーオブホープ居宅介護支援事業所の島田様に協力をしていただいた。

アドバイザーとしては、施設側として特別養護老人ホーム吹上苑 施設長 関口様と在宅側としてきょうりつ訪問看護ステーション 所長野口様にお越しいただき貴重なご意見をいただいた。

なお、事例検討会の前に、アドバイザーの関口様より、吹上苑の看取りの取り組みについての講義を行った。

2.事例検討会の流れ

事例検討会の流れについて、以下の流れとした。なお、詳細は別紙参照。

- ①事例提供者に簡単な概要説明と、相談事項について述べる（10 分）
- ②参加者とともに、1 人 1 問ずつ事例提供者に聞きたいことを確認しアセスメントを完成させる（20 分）
- ③アセスメントと相談事より手立てを参加者に 1 人 1 手立てを考える（20 分）
- ④まとめとアドバイザーによるコメント（10 分）
①～④までの工程を、ファシリテーターの進行により、書記（2 名）がホワイトボードにアセスメント、手立てを書き出していく方式とした。

3.看取りの講義

吹上苑の看取りの取り組みとして、医師のサポートが重要であることや看護師の配置を手厚くしていることで、看取りの人員体制を充実させていることなどを講義していただいた。また、職員間の協力やリスペクトをしていることで、看取りに対する考え方や方向性など、ケアの充実が図れることなどがわかった。

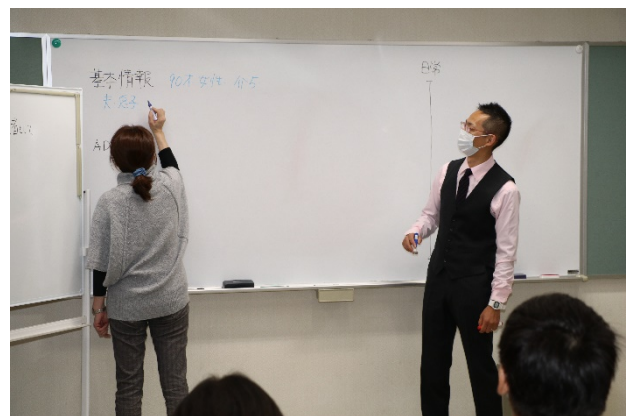
4.事例検討

（1）施設の看取り事例について愛泉苑の太田様より、事例を提供。80 代の女性の事例で、看取りのケアの一環として、家族間での思い出作りとし、昔両親が作ってくれたカレーを再び食べたいとの願いから企画したものだった。施設における限られた環境の中、しかもペースト食を食べている利用者に対して、カレーを作り、家族とともに食べる支援の話なども交えて、家族との交流を増やしたり、外泊の支援などと家族の絆を深めるような看取りのケアの手立て等が提案された。

（2）在宅の看取りとしては、シティーオブホープの島田様より、80 代男性の事例を提供。食事量が少なく、在宅サービスの受け入れが困難であったことや、本人が在宅を希望している点で、介護者である妻も献身的に介護している状況などを話してもらい、妻の介護負担の軽減や、長男や長女などの支援。ショートステイ先でも自宅のような雰囲気をつくるなどの手立て等が提案された。

5.まとめ

看取りの事例は、施設と在宅においても、家族の絆や、自宅での環境を再現したりするなど、家庭的な環境を作るようにし、「終活」ではないが人生の最後をどのように家族や当事者である本人が、悔いの残らないように支援していくべきなのかを改めて考えさせられた。



事例検討会 風景写真